



# 浮羽中学校通信

自ら気づき、判断し、行動できる生徒の育成

【重点目標】～自信をもって何事にも取り組む生徒の育成～

うきは市立浮羽中学校

第 8 号

令和7年9月5日 発行

文責 校長 竹並俊和

## 輝く夏を胸に、2学期へ自分から、未来を拓く

【始業式での校長あいさつ 一部抜粋】

37日間の夏休みが終わり、いよいよ2学期が始まりました。始業式で皆さんの元気な姿に会うことができ、大変嬉しく思います。この夏、大きな事故や怪我の報告がなく、安全に過ごしてくれたことを心から感謝します。

さて、夏休み中も浮羽中学校の皆さんは素晴らしい活躍を見せてくれました。ソフトボール部、男子ソフトテニス部、柔道部、水泳部、陸上部が福岡県大会、剣道部と女子バスケットボール部が筑後地区大会で活躍しました。そして吹奏楽部は心に残る演奏で聴衆を魅了し、弁論大会では吉瀬莉希さんがうきは市の代表として、力強い発表をしてくれました。厳しい暑さや大雨など、困難な状況もありましたが、皆さんはそれぞれの目標に向かって粘り強く取り組み、周囲の人々に大きな感動を与えてくれました。この経験は、皆さんの成長にとって、かけがえのない財産となることでしょう。

2学期は、文化祭をはじめ、たくさんの行事があります。これらの行事は、皆さんが協力し、お互いの絆を深める大切な機会です。そして、自分自身や将来について深く考える絶好のチャンスでもあります。この2学期をさらに充実させるために、始業式で皆さんに意識してほしいと伝えたことがあります。それは「自分から」という姿勢です。誰かに言われたからやるのではなく、自らが動き出すことを大切にしてほしいと思います。「自分から気づく」こと。「自分から考える」こと。そして、「自分から行動する」こと。この3つの「自分から」を意識して、日々の学校生活を送ってみてください。挨拶一つとっても、「自分から先に」する。そうすることで、皆さんの挑戦する力はどんどん強くなります。失敗を恐れる必要はありません。その一歩が、皆さんの成長を加速させるのです。

浮羽中学校の素晴らしい伝統は、これまでも先輩たちが自ら作り上げてきました。この2学期も、皆さんの挑戦を心から応援しています。皆さんが目標に向かって努力し、大きく成長できるよう、先生方も全力でサポートします。



【 始業式の様子 浮羽中学校体育館 】

## PTA 奉仕作業、ありがとうございました！

8月31日（日）に、PTAの皆さんと一緒に校内の奉仕作業を行いました。日曜日にもかかわらず、PTA役員さんをはじめ、多くの保護者の方々、そして教職員合わせて約50名が集まってくださいました。さらに、卒業生の保護者で構成される「とうちゃん倶楽部」の皆さんも参加してくださり、力を貸していただきました。

この日はとても暑い日でしたが、皆さんが汗を流しながら、グラウンドやその周辺、テニスコート、体育館、そしてプールの周りまで、隅々まできれいにしていただきました。

1時間の作業でしたが、皆さんのご協力のおかげで、学校は本当に見違えるようにきれいになりました。

2学期が始まり、皆さんが気持ちよく学校生活を送れるのは、この奉仕作業で一生懸命に働いてくださった保護者の皆さんのおかげです。感謝の気持ちを忘れずに、これからも学校生活を大切にしていきたいと思います。



## 14 人の奏者が織りなす感動のハーモニー

7月31日（金）、久留米シティープラザで開催された筑後地区吹奏楽コンクールで、本校吹奏楽部は銅賞を受賞しました。14名という少人数ながらも、一人ひとりが心を込めて音を紡ぎ、その演奏は聴衆の心に深く響きました。

何よりも素晴らしかったのは、日々の練習で培った絆と情熱を音に乗せて表現してくれたことです。彼ら彼女らの真摯な姿勢と、仲間を信じ、一つの目標に向かって努力する姿は、私たちに大きな感動を与えてくれました。

今回の経験は、吹奏楽部の皆さんにとってかけがえのない財産となったことでしょう。この感動を胸に、これからも素晴らしい音色を奏で続けてくれることを期待しています。



【吹奏楽部の演奏 於 久留米シティープラザ】

## 水泳部、新人戦での快進撃！

猛暑の中、水泳部の新人戦が幕を開けました。8月7日（木）のブロック大会を皮切りに、8月21日（木）には筑後地区新人水泳大会に出場しました。そして、明日9月6日（土）には、いよいよ福岡県新人水泳大会が開催されます。他のどの部活動よりも早く新人戦のスタートを切った水泳部。夏休みから厳しい練習を積み重ねてきた努力の成果が、今回の大会で存分に発揮されました。明日の県大会での活躍を心から期待しています。悔いのない泳ぎで、最高のパフォーマンスを見せてくれることを願っています。頑張れ、水泳部！

※下記表は、筑後地区大会成績及び福岡県大会出場者・種目です。心より健闘を祈ります。

| 種目／成績                      | 名 前   | 種目／成績                    | 名 前   | 種 目          | 成 績 | 名 前   |
|----------------------------|-------|--------------------------|-------|--------------|-----|-------|
| 男子<br>400m<br>メドレーR<br>4 位 | 田中 絢都 | 男子<br>400m<br>リレー<br>3 位 | 田中 絢都 | 男子自由形 50m    | 5 位 | 田中 絢都 |
|                            | 廣底 侑  |                          | 廣底 侑  | 男子自由形 400m   | 3 位 | 馬田 響大 |
|                            | 馬田 響大 |                          | 大熊 凜太 | 男子平泳ぎ 200m   | 5 位 | 馬田 響大 |
|                            | 岩下 雅悠 |                          | 馬田 響大 | 男子バタフライ 100m | 4 位 | 田中 絢都 |



【ブロック新人水泳大会 於 吉井中学校】



【筑後地区新人水泳大会 於 筑後広域公園プール】

## 教育の未来を語る！その舞台に！

8月22日（金）、「中村学園大学開学60周年記念教育DXセミナー・九州教育情報化セミナー」が開催され、本校から島隆文先生が実践報告者として参加し発表をされました。

今回のセミナーは、九州各県の教育関係者500名以上が集い、教育DX（デジタル・トランスフォーメーション）の未来について語り合う大変重要な会でした。午前中に行われた文科省の基調講演や、各県の教育委員会担当者によるパネルディスカッションは、これからの教育が向かうべき道筋を示唆してくれるものでした。そして、午後からの分科会では、島先生が第3分科会「デジタルコンテンツを活用した主体的な学び」にて、本校が日頃から全教科で取り組んでいることや先進的な取り組みを発表されました。会場には多くの参加者が詰めかけ、本校の取り組みに熱心に耳を傾けていました。

島先生、お疲れさまでした。教育の未来を考える貴重な場で、本校の取り組みを発表して下さったことに心から感謝いたします。この経験は、本校の教育活動をさらに進化させる大きな力となることでしょう。



【報告する島先生 於 中村学園大学】